

2025年度 湘南ヘルスイノベーションパークの環境保全に関する
連絡会議議事要録

日 時 2025年（令和7年）7月3日（木）10時00分から

場 所 湘南ヘルスイノベーションパーク会議室

出席者 村岡地区自治町内会連合会、小塚町内会、小塚東町内会、高谷町内会、宮前町内会、渡内町内会、渡内北町内会及び渡内西町内会の代表
アイパークインスティテュート株式会社社員、
株式会社KJRマネジメント社員
藤沢市役所 村岡市民センター及び環境保全課職員

議題・内容

1 あいさつ

町内会、藤沢市、アイパークインスティテュート株式会社の代表者あいさつの後、次第に従って進められました。

2 議題

（1）藤沢市からの報告

この1年以内では昨年12月と今年の6月に市民団体からご要望・ご質問を受けています。内容については、アイパークの操業内容や周辺環境、安全対策に関するもののほか、市の施策に関する内容であり、湘南ヘルスイノベーションパークに内容をお伝えし、市からの回答と合わせて回答しました。なお、6月のご要望・ご質問については、準備が整い次第回答する予定です。

昨年度は、市議会では陳情・請願は無く、10月の決算特別委員会と3月の予算等特別委員会で質問がありました。主な内容は、運営体制の状況や立入検査の実施状況、連絡会議の開催状況のほか、環境安全対策や安全協議会の設置など、安全について質問がありました。

主な答弁内容は、湘南ヘルスイノベーションパークの運営体制が変更になったことに関する対応状況で、2023年度は、安全管理等について受託しているアイパークインスティテュート株式会社が責任をもって運営していることを書面等で確認しており、立入検査においても、責任体制のほか、環境保全に関する協定における事業者の責務、防災環境パトロールの記録、安全衛生・環境保全教育実施の記録や排水測定記録等につきまして、帳簿等により確認、検査を行い、適切に運営管理が行われていることを確認していることを答弁しております。

連絡会議の開催状況につきましては、地元町内会のご協力を得まして、藤沢市と湘南ヘルスイノベーションパークとで開催していることを答弁しております。

また、もっと広く市民が参加する協議会の設置については、連絡会議という形で周辺町内会の皆さんと意見交換しコミュニケーションを図っており、その内容について関係町内会への回覧や、市政情報コーナーへ配架して誰もが閲覧できるよう情報公開に努めており、湘南ヘルスイノベーションパーク様自身も住民の皆さんとコミュニケーションに努めており、現状の連絡会議で十分であるという答弁をしてお

ります。

議会では、安全について多く質問がありましたので、今後とも市としましては、こちらに記載のとおり、住民の皆様に安心していただけるよう、立入検査等を通して安全について確認してまいります。

藤沢市環境保全課による立入検査については、安全管理体制、湘南ヘルスイノベーションパーク総合利用規約のほか、防災環境のパトロール記録や、安全教育の内容や、法令に基づく測定結果などについて、帳簿などにより検査した結果、施設の安全体制は確保できていることを確認しております。

(2) 湘南ヘルスイノベーションパークからの報告

1) 2024年度「環境測定結果報告」

環境保全協定では、排水、排気、騒音、振動、臭気の5項目の分析を行うことと記載されています。排水については、毎月1回測定をしております。排気ガスについては、ガスエンジン、ボイラーがありますので、そちらを年に2回9月と3月に分析しております。騒音、振動は敷地境界線で年に4回、5月、8月、11月、2月に測定を行っております。臭気については、東西南北4か所でもっとも臭いが強いと感じる8月に敷地境界で年1回測定しております。

排水は毎月測定しておりますが、代表値として、最大値と最小値をお示ししています。緑色の枠が環境保全協定で定めた目標値、青枠が測定結果ですが、今年度ノルマルヘキサン抽出物について管理目標を1度超過いたしました。(排水基準は適合) 経緯としましては、事業所内の保育園の排水の流れが悪い状況があり、配管の高圧洗浄をかけたために一過性で管理目標を超過したものととなります。実験室からの排水は別途モニタリングしているため、実験室からの排水が原因ではないと考えております。その他の項目については、年間を通して目標値を超えることはありませんでした。

排気は、ばいじんと窒素酸化物の2項目を測定しています。ボイラー30台ですが、すべて管理目標値以下となっております。ガスエンジン4台は都市ガスを使用して発電を行っていますが、こちらについても管理目標値以下となっております。

騒音は時間帯ごとに基準があり、朝昼夜夕の4回測定してデータをとっており、年に4回測定を行っております。例年は夏にセミの音で超過が見られますが、今年度はすべて管理目標値以下となりました。

振動は、昼と夜の時間帯に2回測定を行い、こちらも年に4回測定しましてすべて管理目標値以下となっております。

臭気は臭気指数という指標で評価してすべて10未満ということで、すべて管理目標値以下となっております。

協定に記載していない項目ですが、地下水については、敷地の境界10か所で年に4回(4月、7月、10月、1月)測定を行っております。分析結果ですが、ヒ素は1か所で検出されましたが、環境基準以下でしたので問題ありません。また六価クロム化合物、鉛については、検出限界未満でしたので問題ありません。

フッ素については、No. 1、No. 2、No. 7、No. 8の4か所で基準値を超える結果となりました。

これにつきましては、過去数年間同じ結果が出ておりまして、自然由来と推測しております。周辺の環境影響としては、井戸水を飲まないようにしていただければ健康への影響はありませんので、ご安心ください。今後とも年4回の測定を継続してまいります。

続いて、生物実験に関して報告いたします。生物実験の運用に関しましては、例年と変更ありません。生物実験に関しては、遺伝子組換え実験、バイオセーフティ管理及び動物使用実験がございまして、いずれも委員会で公正な審査を行ったうえで実施しております。

運用につきまして、まずは教育ですが、これは新たな実験を始める時の導入及び年次の定期教育も義務としています。また委員会への報告の確認、定期的な実験室の確認も行っております。実験使用後の廃液については不活化処理を行った後に産業廃棄物として外部に委託処理されています。動物実験に関しては AAALAC インターナショナルという国際的な第三者承認機関の認証を 2012 年に初回取得後継続しており、動物倫理や従事者の安全衛生に配慮しながら実験を進めております。また動物実験に伴う死体の焼却については、武田薬品湘南研究所が開所した 2011 年以来すべて外部に委託しており、施設内で焼却した実績はございません。

次に 2024 年の報告事項です。まずは遺伝子組換え実験、バイオセーフティ管理ですが、全ての対象者への導入教育、定期教育を実施しております。また、遺伝子組み換え生物の外部環境への漏洩事例は発生しておらず、環境保全協定に抵触するような検体の使用もございません。動物使用実験に関しても、全ての対象者への導入教育、定期教育を実施しております。

2 点目に記載の実験動物の匹数不整合事例については、2024 年に発生した事例ということで別途報告させていただきます。

3 点目は外部認証機関である AAALAC インターナショナルによる動物実験施設の定期的な認証更新調査が 2 月に行われ、指摘事項項目への対応を進めております。

実験動物マウスの匹数不整合事案につきまして、改めてご説明いたします。昨年 6 月 13 日に、本来 4 匹いるはずのマウスが 3 匹しかいない事象が発生し、当該飼育室、実験区画、洗浄室、その他輸送経路全てを 7 月末まで徹底調査しましたが、個体の発見には至りませんでした。（当該個体は遺伝子組換え生物には該当しません。）施設の構造上、当該個体が動物飼育エリア外に出る可能性は限りなく低いことから、結論として当該動物が生きたまま施設外に逃走したのではなく、何らかの原因で当該個体が飼育ケース内で死亡し、そのまま死体として床敷（排泄物を吸収させる紙製チップ）に紛れた状態で回収後、廃棄物として施設外に搬出されたものと判断いたしました。再発防止策として、飼育担当者へ本事例の共有、手順書の再整備、また担当者への再教育を実施しております。

2) 湘南ヘルスイノベーションパークの近況

入居者の最新状況としましては、約 200 社 2500 名という状況で、徐々に増えております。アイパークの活動として、地域の皆様とどのような取り組みをしていくか方針が固まってまいりました。5 月と 11 月の年 2 回大きなイベントを始めしております。

5月のアイパークフェスタは、アイパークの研究者達が地域の方々や、特に若者世代を中心に交流し、生命科学ライフサイエンスに触れる機会を作っていったらという企画の意図でございます。それに対しまして、11月の秋のイベント、新湘南ウェルビーイングフェスタは、地域の皆様の健康そのものをテーマに、いかに新しいテクノロジー技術を生かして、ウェルビーイングを実現するか、すなわち、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも健康であるという幸せの定義に向かって、どのようにヘルスイノベーションを使って頂くかというイベントです。これらのイベントを毎年行うことによって、アイパークがどのようにこの地域に貢献できるか、皆様に共感頂けるよう企画しております。

5月に行われたアイパークフェスタ2025では、多くはお子様たちが対象でしたが、サイエンスの体験ブースやサイエンスステージがあり、柳田理科雄先生のステージや芝生広場を使ったイベントは大変好評でした。今年が目玉の一つが、湘南アイパーク学生研究発表会で、このエリアに限らず首都圏の高校生、大学生、大学院生が現在研究している内容をアイパークの研究者の前で発表し、それに対してコメントしてもらうというもので、驚くほどレベルの高い研究発表になりました。学生さんも本格的なコメントをもらい、「ますますこのアイパークで働きたいと思うようになりました」、「やっぱり私薬学部に行きたいと心から思いました」というコメントを頂き、この企画はやってよかったと、来年さらに進めていけたらと思っております。また、薬のトリビアというのは、小学生や幼稚園のお子様が、具体的な科学に関する質問をして、研究者が答えていくというイベントですが、年齢は下がりますが、科学にどうやって皆様が親しんで頂くかということをアイパーク総がかりで企画している、そんなイベントになってまいりました。

秋のイベントですが、昨年の新湘南ウェルビーイングフェスタはワークショップあり、移動乗り物実証実験あり、ヨガあり、太極拳、落語、アカペラありという、なんでもあるイベントですが、ウェルビーイングを究極の目的として健康とは何のためにあるかということが体感できるようなイベントになってきています。ベースは最新の機器で、健康が測定できるものが色々並びました。自身の健康管理をしながら、一緒に楽しめ、喜べるコミュニティがあり、サークルがあるというところが、このエリアの魅力になるように体感して頂くイベントを企画させて頂いています。昨年は2200人の方に集まって頂きました。先ほどのアイパークフェスタは3700人集まって頂きました。ウェルビーイングフェスタでは、各種乗り物の体験、ワークショップ、また能登の災害時に治療現場として実際使用されたコンテナも来ました。企業ブースの展示もヘルスイノベーションに関する新しいDXを使用して測定できるものが展示されておりました。今年も11月29日に開催させて頂きます。健康寿命をいかに科学的に延ばすかというあたりがテーマになり、皆様のご興味に応じてご参加頂ければと思います。今年は厚生労働省も応援頂けることになり、本格的にエコシステムみたいなものを取り上げようかと思っております。

このエリアの皆さまとの関わりということで、ボランティア清掃を今年も2回実施いたしました。参加者も増え、村岡市民センターの皆様にも協力頂きまして、朝8時から1時間弱清掃させて頂きました。また渡内町内会におきまして、オレンジランプという認知症をテーマにした映画を上映しました。

また地域との取り組みと事例で、地元のお店をアイパークの入居の方に知って頂くというキャンペーンを実施しておりまして、食堂の正面のボードに掲示し、飲食店に限らずサービスや不動産といった事業者さんの掲示もしております。また、公園を解放して欲しいというお声があったことから、解放はしていたのですが、なかなか浸透せず、警備の都合もありまして、残念ながら日曜日ごとの解放は中止しております。その代わり、3月の桜の時期に湘南アイパーク桜解放デーという企画をし、200名程の方に訪れて頂きました。

最後に昨年も連絡させて頂きましたが、アイパークに何かご意見、ご質問等ありましたらホームページの方に問い合わせ頂くか、電話の窓口も併せてお問い合わせ頂けるようになっております。

3 質疑

町内会：高齢化が進む中で認知のような方も増えてきているようなので、映画のDVDはお貸しいただけるのか。

アイパーク：このプロジェクトにアイパークも参加していますので、日程・人数・会場等を調整いただければ、上映会という形で対応いたします。チラシがあるので、お渡しいたします。

町内会：私共の町内会では周知が足りず15名ほどでしたが、好評であった。ポップコーンなどイベント的に行った。

町内会：①ノルマルヘキサン抽出物の濃度上昇について、設備の構造的に問題がなかったのか。そこを直す必要はなかったのか。②マウスについて、逃亡ではないと判断されたとのことではあるが、大きな問題なので対策して頂きたい。③井戸水のフッ素濃度超過について、飲用しないようにと言われているが、災害用井戸もあり災害時飲んでしまう可能性もあるので、井戸の所有者に情報提供をして頂きたい。

アイパーク：①ノルマルヘキサン抽出物の件については、構造上は特に問題ないと考えています。清掃が十分でなかったのが原因のため、メンテナンスの見直しを行います。②担当の会社にはすでに再発防止策を実施していただいております。今後この対応を徹底いただきます。③生水は飲まない方がよいと考えております。基準の設定としては1日に2L飲用し70年間続けた場合の基準なので、口にして直ちにフッ素による影響があるものではないと考えています。

藤沢市：防災井戸は飲むためのものではないが、飲むためには50項目以上の飲用検査が必要になってくる。飲むことについては井戸の所有者が責任を持った飲用になる。

町内会：市が防災井戸を指定しているので、所有者に市から説明すべきと考える。

藤沢市：関係部署に確認します。

町内会：地区防災協議会の場で、井戸水は飲めないと地域の方に訴えている。

町内会：武田薬品工業の所有地を市が借り受け、防災広場を整備しているが、更

新等の状況はどうなっているのか。

町 内 会：自動更新となっている。

町 内 会：①緑地や森で、子供たちが森の中でイベントとして何かできるよう解放してもらえないか。②従業員の北側出入口に照明がないので作っていただけないか。③日常的な健康情報が必要な際は、地域をぜひ活用してほしい。

アイパーク：①森の活用については、研究所という性質上、解放時には警備員の追加配置が必要です。コスト面の問題もありますが、グラウンドをお貸ししていることもあり、検討してまいります。②北側出入口の照明設置についてはどういった形で対応できるか、検討させていただきます。③病院にかかられたり、ご自身で健康管理が出来たり、主治医やスポーツトレーナーにも相談できるようなエリアになっていくことがヘルスイノベーションだと考えています。普段からの小さいイベントから派生させる形で行っていきたいので、ご協力をお願いします。

町 内 会：女子寮の跡地の利用について、どのように使うのか。

アイパーク：土地区画整理事業区域全体で計画されるものだと承知しています。

町 内 会：大井町のビオトピアでは、健康に関する検査が無料でできる施設があるのでご覧いただきたい。また、化学物質を使用しているが、従業員の特殊健康診断の実施状況や化学物質に起因する健康障害は大丈夫か。

アイパーク：特殊健康診断を含めた健康診断は、各事業者の責任において実施いただいております。施設としては化学物質の暴露に対する物理的防護対応など、安全衛生面での必要な支援を実施しています。

以 上